

経営比較分析表（平成30年度決算）

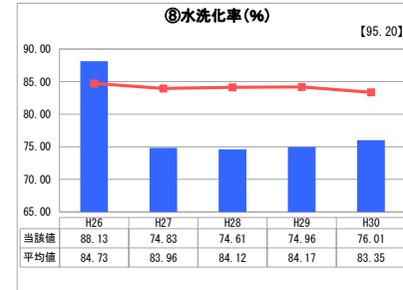
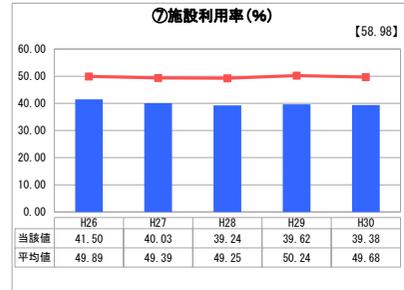
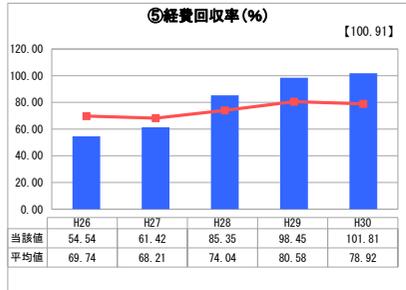
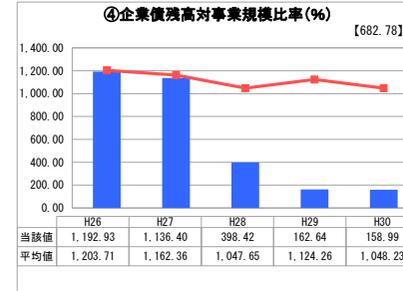
岐阜県 関ヶ原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	81.37	96.22	3,450

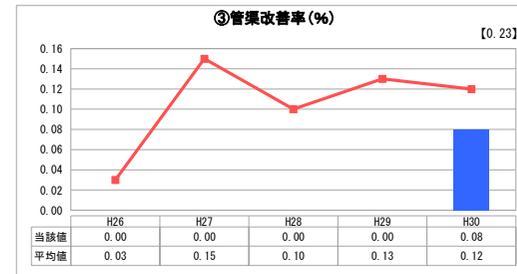
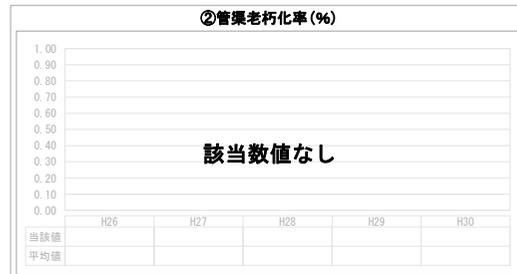
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,087	49.28	143.81
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
5,752	3.00	1,917.33

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、人口の減少及び節水機器の普及による使用料収入の減少や地方債還金の増加に伴い減少傾向が強く、平成26年度から約7%減少している。維持管理費は使用料収入で概ね賄えているが、不足分の企業債償還金を一般会計からの繰入に依存している状況である。

企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して低い状況であるが、今後、施設や管路の更新に伴い企業債残高が増加すると予想される。

施設利用率が類似団体と比べて低いのは、処理水量が減少傾向にあるためである。接続の促進を強化し回り水洗化率の向上に努める。

水洗化率の平成26年度の88.13%について、水洗便所設置済人口の算出方法に誤りがあったため、実際は、74.54%となり横ばい傾向になっている。

2. 老朽化の状況について

法定耐用年数50年を超えた管渠は無いが、平成27年度に策定した総合地震対策計画に基づき平成30年度に耐震補強を0.05km整備し0.08%となった。耐震補強は令和元年度まで整備していく計画です。

処理施設及び管渠の老朽化対策として、令和元年度にストックマネジメント計画を策定し、翌年度には整備計画を策定し、随時整備していく方向である。

全体総括

企業債元利償還金は、今後しばらくは同水準で推移していくため、経営戦略の計画に基づき長期的な改善需要の見通しをたてて財政規模に合わせて水準、最適化を計る。

平成30年度末に老朽化が進む農業集落排水処理（玉処理区）を統合したので、維持管理の軽減に繋がっているか分析が必要となる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。